

ビサイレント本山の外観に関する経緯

下の写真は10月27日に撮影されたビサイレント本山です。

外観については、次頁のように2018年4月の住民説明会で、名古屋市都市景観室が調整した案を実施案として自ら説明していたにも拘らず、これを廃棄し、この7月25日に新しい外観案を住民に示し、名古屋市とは調整済みとの説明をしています。

この経緯については、名古屋市に以下の内容で行政文書公開請求をしており、結果については後日。

「ビサイレント本山に関して景観法の届出が出されて以降の景観アドバイザー相談の経緯の分かるもの（請求日：10月15日）」

このビルは、四谷通りを本山交叉点に向かって北上すると、目の前に現れます。

錯視の原理（人間の眼は常に振動している）もあって、じっと眺めるとクラクラします。交通事故の多発を第一に心配します。



建築主から提示された外観の経緯



2016年11月の案

上図は下の二つとは違って西面

○外装変更前(10F建て時)



2018年4月5日の
住民説明会での案

○外装変更後



2019年7月23日に
配布された案

グランドピアノを強調
2階は音楽ホール、3-10階は賃
貸の防音マンション